

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

12.15

目次

「しみんの広場」	2
投稿記事	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
おしらせ	8
連載コーナー	10

待ち遠しいな
新しい年!





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 投稿 2ページ
- 地域の話(高松校区) 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ

投稿

白谷海浜公園写真・絵画展

10月23日(土)～11月21日(日)開催

白谷海浜公園管理組合さん



白谷海浜公園管理棟で、白谷海岸周辺の古写真や絵画作品など約400点を集めた展覧会を開催しました。写真の収集は、地元住民や市内の写真収集家の方、田原市博物館などにご協力いただき、約3か月かかりました。

昭和40年代の初めから、臨海工業地帯の埋め立てなどで、目まぐるしい変貌を遂げてきた童浦校

区。その中の白谷地区も、鉱山開発や海浜公園の埋め立てなどで、静かな漁村だったころから大きく様変わりしました。展示した写真の中には、活気あふれる漁村の暮らしなど、今では見られない貴重なものが多く、ご来場いただいた方々からは「懐かしい」「これだけの写真をよく集めたものだ」など、多くの感想が寄せられました。

今回の展覧会が、地域の誇れる景観、伝統、文化を改めて見直し、次の世代へ引き継いでゆきつかけになればと思います。

※12頁の歴史探訪クラブでは、白谷トンネルについてご紹介しています。



▲展覧会の様子



▲白谷海岸 (写真所蔵：山田幸宏さん) 年代不詳



▲海から見た白谷 (写真撮影：藤城幸一さん) 昭和31年



記録映画「葦牙」上映

第3回「こころの健康啓発映画会」

特定非営利活動法人おおぞらさん

皆さん、こんにちは。特定非営利活動法人おおぞらは、心の病を抱える人々をサポートする団体で、平成20年に法人格を取得しました。地域活動支援センター「ふれあいの家」(赤石)の運営や、アパートでの余暇支援、啓蒙活動などを行っています。

今回、近年増加する児童虐待への警鐘や虐待について考えていただこうと、記録映画上映会を企画しました。ぜひ、ご来場ください。

● 記録映画『葦牙』上映会 ～子どもが拓く未来～

- * 日 時:平成23年1月10日(月・祝)
午後2時～4時
午後6時～8時
- * 場 所:田原文化会館多目的ホール
- * 入場料:1000円
(高校生以下の方は無料)

▶ チケット販売や映画上映会のお問い合わせは、特定非営利活動法人おおぞら(地域活動支援センターふれあいの家内) ☎ 22局7341へ



初出場で最優秀賞受賞 第16回日本管楽合奏コンテスト全国大会

成章高校吹奏楽部の皆さん

私たち成章高校吹奏楽部は、11月6日(土)、文京シビックホール(東京都)で開催された日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場しました。そして、吹奏楽の名門校として知られる愛工大名電高校などとともに、最優秀賞を受賞することができました。

日本管楽合奏コンテストは、小学校から高校まで4部門あり、私たちが出場した高校B部門では、テーパー審査により32校が予選を通過しました。この部門は35名以上の大編成で、全日本吹奏楽コンクール常連校がひしめき合う難関です。このコンテストでは、部員全員の70名で「ハンガリー民謡『くじやく』による変奏曲」を演奏し、会場中のお客様さまから割れるような拍手をいただきました。

私たちが、このような結果を得ることができたのは、地域の皆さまや応援してくださる方々のご支援



▲11月24日(水)、指揮者の鈴木孝育先生(左)と部員代表者が、田原市長に最優秀賞受賞の報告をしました



▲日本管楽合奏コンテスト全国大会の様子

のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、成章高校吹奏楽部は、平成23年で創部50周年を迎えます。そこで、吹奏楽部創部五十周年記念第十一回定期演奏会を開催することになりました。ミュージカル「オズの魔法使い」をはじめ、クラシックからポップスまで、歌や踊りを交えて楽しいステージにしたいと思っておりますので、ぜひ皆さんご来場ください。

▼開催日 平成23年3月27日(日)

▼場所 II アイプラザ豊橋

▼入場料 II 前売500円

※詳しくはお問い合わせください

▼成章高校(鈴木・氏原・林)

☎22局0141



全国青年大会で3位 35歳未満の青年チームが競う大会

田原市青年バレーボールチームさん

11月12日(金)～15日(月)、駒沢室内競技場(東京都)で開催された全国青年大会に参加し、3位入賞を果たしました。

私たちは、市内のバレーボール協会に登録したチームの中から選ばれた青年バレーボールのチームです。この大会は、各県代表の27チームが参加し、田原市が参加するのは3年ぶりで2回目のことでした。強豪ぞろいの中での3位入賞は、一生懸命練習した成果を出せたもので、「やったぞー」という達成感でいっぱいです。



▲3位入賞を決めた際の様子

これからは、各チームに戻り、それぞれのチームのレベルアップに務めたいと思います。

皆さんの身近な話題について、ぜひご投稿ください。

▼田原市役所 政策推進部広報秘書課

〒441-3492(住所不要)

☎22局0138 ☎22局1091

✉kono@city.tahara.aichi.jp



▲高松一色の海岸で「宝探し」を楽しむ地元の子どもたち

地域の話

高松校区

郷土の海を愛する心

人と人が支え合いながら、長年「絆」を深めてきた高松校区。恵まれた自然と生活環境を活かし、地域づくりを進めています。そんな高松校区のコミュニティ協議会から、お便りが届きました。

私 人々

私たちの高松校区では、人と人、人と自然、絆を育むまちづくり、を将来像に掲げた「高松校区まちづくり推進計画」の実現を目指し、校区コミュニティ協議会を中心とした地域づくりを進めています。今年度は、推進体制の充実のため、コミュニティ協議会の中に6つの専門部会（安全・福祉・スポーツ・環境・青少年・企画文化）を設置しました。現在、各部会を中心に、「防犯パトロール」「スポーツ大会」「清掃活動」「親子学級」などの企画・運営を行っています。

高松フレンドシップデー

10月2日（土）、校区コミュニティ



▲砂浜の綱引きは気分爽快

協議会の主催で、高松一色海岸において「高松フレンドシップデー」を開催しました。この行事は、さまざまな理由で地元の海から疎遠になりつつある校区民に、「郷土の海を愛する心」を呼び覚ましてもらうと、環境部会を中心に企画・運営を行ったもので、地元の親子など約250名が参加しました。

予定していたミニ地引網は、海の状態が整わず中止となりましたが、参加者は「ビーチウォーク&ビーチクリーン」「宝探し」「綱

引き」などを楽しみ、久しぶりに訪れた地元の海で歓声を上げていました。また昼食では、役員や地元ボランティアの協力で、朝に捕れた「キスの天ぷら」などが振る舞われ、こちらも大好評でした。

将来に向けて

初の試みだった、このフレンドシップデー。アンケートでは「高松の海が好きになった」「地区の人との交流ができた」との声が多く聞かれ、成果を実感できました。しかし、安全対策や開催時期などの課題も残りました。これからは、役員だけでなく、校区民の意見や提案を取り入れながら、高松の住民が総参加できるようなイベントを企画・運営できればと考えています。こうした行事を通じ、郷土の海を愛し、自分たちの海は自ら守るという意識が芽生えることを期待しています。

参加者のこえ

海をきれいにしたいと考えて参加しました。ごみ拾いで海がきれいになり、焼き鳥やスイカなども食べられたので、とても楽しかったです。（小学生男子）

世界サーフィン大会で有名な海岸ですが、地元の人向けのイベントがないので、良い取り組みだと思います。これからも、高松の人が楽しめるイベントを期待します。（女性）



市民活動を応援するページ



イベント告知

市民活動、交流から広げよう！

第4回「しみんのひろば」

市内で活躍する市民活動団体の交流と活動発表の場、「しみんのひろば」は今年で4回目。今回も、市民活動団体が自ら企画・立案してイベントを作り上げます。参加する団体の活動内容は千差万別、活動している人は老若男女。すでに面白い人たちが集まり活動をPRします。「市民活動って何？」と感じている皆さん、ぜひ見に来てください。



日時 平成23年1月30日(日) 10:00～15:00

会場 田原文化会館多目的ホール ほか

内容 講演会 10:10～

[講師] 服部宏氏(堀川1000人調査隊)

[演題] “名古屋市の堀川は

市民の手でよみがえった!!”

[会場] 田原文化会館多目的ホール

[入場] 無料/直接会場へお越しください

各団体のブース展示、参加型体験コーナー、軽食・喫茶コーナー ほか

「どすごい交流会」

東三河の市民活動団体の交流を目的に、毎年開催されている「どすごい交流会」。今年度は、田原市で初めて「しみんのひろば」と同時に開催されます。現在、参加を希望される団体(方)を募集しています。

日時 平成23年1月30日(日) 13:00～15:00

会場 田原文化会館多目的ホール

内容 どすごい名刺配り(しみんのひろばを巡回)
どすごいネット紹介(情報交流サイト)
どすごい交流会(東三河の市民活動団体が交歓)

対象 市民活動や市民活動団体に興味のある方

応募 参加を希望される団体(方)は、平成23年1月28日(金)までに電話またはEメールにて

▶ 市民協働課 ☎ 23局 3504

✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

▶ 田原市民活動支援センター ※下段参照

詳しくはどすごいネットをご覧ください。

☎ <http://www.genki365.com/dosugoi/>

イベント
情報

市民活動ニュース

→このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
H23/1/23(日) 14:00～16:30	『シュアスタート』を考える ～子育て支援における地域の協働と 体系的な支援を目指して～ (平成22年度市民協働まちづくり事業補助金採択事業)	対象：子育て支援に興味のある方 会場：田原福祉センター 3F (大会議室) 参加費：500円	NPO法人 たはら広場 ☎ 080-6955-2167(小澤)

補助金
情報

あなたの活動にお役立てください！

助成の名称	対象・内容	問い合わせ・連絡先
新規団体・人材養成活動補助金	補助対象① 設立2年未満の市民公益活動を行う団体における活動初期の取り組み/平成23年1月31日締め切り 補助対象② 市民活動団体の活動を担う人材養成、スキルアップを図る講座への参加など/平成23年2月10日締め切り ※詳しくは市ホームページをご覧ください。	市役所市民協働課 ☎ 23局 3504 ☎ 23局 0180 ☎ http://www.city.tahara.aichi.jp (トップページ右下「市民協働のまちづくり」からアクセス)

田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

❷ このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎ 22局 1111(内線812) ※開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 29

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、保育実習で園児に見せる絵本を作る生徒の様子、和太鼓を使った児童の活動の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

東部中学校「保育実習」

保育園児のための絵本を作ろう！

東部中学校の3年生が、家庭科の保育実習(11月)で東部保育園、神戸保育園、漆田保育園の園児のために、絵本を手作りしました。生徒たちは初めての絵本作りに戸惑いながらも、幼いころ好きだった絵本をもう一度読み直したり、図書館で幼児向けの絵本を読んで研究したり、試行錯誤を繰り返しながら制作に取り組みました。

保育園児が喜びそうな色使いや、読みやすい文字の大きさを考えたり、“布を貼って手触りを楽しむ絵本”や“飛び出す絵本”、“仕掛けのある絵本”などを工夫したりして作る生徒の姿も見られました。「自分の絵本で、楽しんでもらえたらいいな」「園児と一緒に読みたいな」など、生徒たちは保育実習を楽しみに作っていました。

生き生きとした保育園児と触れ合うことで、幼児との関わり方などを学んでほしいと思います。



●手作り絵本に色を塗る生徒



●手作り絵本での読み聞かせ



●和太鼓クラブの練習の様子



●運動会「みんなで踊ろう 東部の輪」

田原東部小学校「和太鼓」

日本の伝統文化にふれよう！

田原東部小学校では、魅力ある学校づくり事業の一環として、日本の伝統楽器である「和太鼓」を購入し、教育活動や校区の盆踊りで活用しています。

音楽の授業では、和太鼓を使った演奏を行っています。和太鼓クラブは、昨年から校区の専門家を講師に招いて活動を始めました。クラブの時間には、音楽に合わせて打つ和太鼓のリズミカルな音が聞こえてきます。運動会の種目では、「みんなで踊ろう 東部の輪」という種目を設け、和太鼓に合わせてみんなで踊りました。また、6年生が校区の自治会の方から太鼓のたたき方を教えてもらい、校区の盆踊りを盛り上げています。子どもたちの自信に満ちたバチさばきは、多くの方から賞賛をいただき、講師や自治会の方も子どもたちの覚えの速さに驚いています。

和太鼓を通して、地域の伝統も大切にしていってほしいと願っています。

●お詫びと訂正
11月1日号10頁のたはらシティニュースでご紹介した田原市老人クラブ連合会受賞の記事に誤りがありました。受賞されたのは(財)全国老人クラブ連合会の平成22年度「活動賞」ボランティア活動部門です。お詫びして訂正いたします。

11月11日木
火の元に用心し
新年を迎えよう！

秋季全国火災予防運動の一環として、中部保育園・蔵王幼稚園・赤石幼稚園で防火パレードが行われました。参加した157名(3か所計)の園児たちは、音楽に合わせて拍子木を鳴らし、「火の用心！」と大きな声で元気よく沿道で呼びかけました。



▲乾燥するこの時期、園児たちの笑顔を思い出して火の用心を！(中部保育園)

11月27日土
フェリー存続で
今年も会えたね！

11月27日(土)・28日(日)の2日間、田原市長杯少年野球交流大会が滝頭公園野球場などで開催されました。伊勢湾口道路の早期実現を目指し行われている同大会に、今年も田原市から12チーム、伊勢・志摩地域から14チームが参加し、交流を深めました。



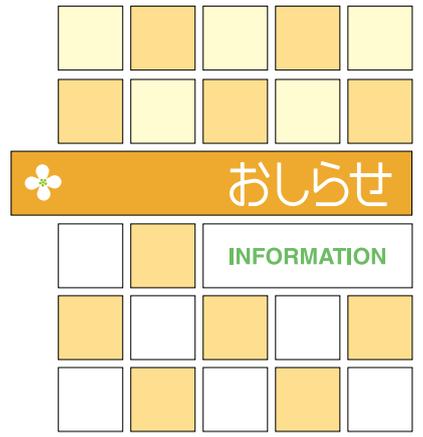
▲大きな声で選手宣誓を行った中村太紀主将(今一色野球スポーツ少年団)

11月14日日
自助・共助で
災害に備える

自主防災会の防災訓練が市内全域で行われ、約1万2000名の住民が参加しました。サイレンを合図に訓練が始まり、各避難所に集まった人たちは、消火訓練や応急救護訓練などを行い、地域防災のあり方を確認し、「自助共助」の意識を高めました。



▲地域の防災リーダーから三角巾の使い方を学ぶ住民たち(六連町浜田地区)



募集

WANTED

渥美郷土資料館企画展監視員

渥美郷土資料館で開催する企画展の展示室監視員を募集します。

▼募集人員 5名 ▼採用期間 平成23年2月5日(土)～3月21日(月・祝) ▼勤務時間 午前9時～午後1時または午後1時～5時(交替勤務) ▼勤務内容 展示室監視 ▼賃金 時給810円 ▼選考方法 応募者多数の場合は、書類選考後、面接(期日など詳細は後日通知) ▼申し込み 平成23年1月18日(火)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入

田原市臨時保育士・調理員・用務員

職種	業務内容	賃金	勤務時間
保育士	乳幼児の保育	時給1,100円～1,200円	午前7時30分～午後4時15分 午前8時30分～午後5時 午後4時15分～6時15分 午後4時15分～7時15分 ※上記のいずれかの時間
調理員	給食の調理、園舎の清掃など	時給910円	午前8時30分～午後4時15分
用務員	給食の配膳、園舎の清掃など	時給850円	午前8時30分～午後5時

のうえ開館時間内に提出(郵送不可)
▼田原市博物館
☎22局1720 FAX23局3770
田原市臨時職員
臨時保育士・調理員・用務員
▼募集人員 各若干名 ▼採用期間 平成23年4月1日～9月30日(更新される場合あり) ▼勤務場所 市内保育園 ▼勤務形態 月曜～金曜日(祝日を除く) ▼職種・業務

内容・賃金・勤務時間 表のとおり
▼申し込み 平成23年1月31日(月)までに子育て支援課へ直接お問い合わせください。▼その他 臨時保育士の場合は、保育士資格が必要です。

▼子育て支援課

☎23局3513 FAX23局3545

放送大学 平成23年4月入学生

放送大学では、平成23年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。放送大学は、テレビやラジオの放送を通して学ぶ遠隔教育の大学です。「働きながら学んで大学を卒業したい」「学びを楽しみたい」など、さまざまな目的で、幅広い世代や職業の方が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

▼出願期間 平成23年2月28日(月)まで

※資料が必要な方は、お気軽にご連絡ください。資料の申し込みは、放送大学ホームページでも受け付けています。

▼放送大学

☎(0120)864局600

🌐 <http://www.ouj.ac.jp/>

生活

LIFE

下水道接続にご協力を!

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいに処理して川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。下水道を使える区域でまだ接続をしていない方は、接続にご協力ください。

■下水道に異物を流さないで!

下水道施設へ異物が入ると、故障の原因になり、適切な污水处理ができなくなります。

- 水洗便器にトイレットペーパー以外の紙(ティッシュ、乳幼児用おしりふきなど)を流さないでください。
- 排水管が詰まる原因になりますので、野菜くずやご飯の残り、天ぷら油などを流さないでください。
- ガソリンや灯油など揮発性の高い危険物は、下水道管の中で爆発を起す原因になります。絶対に流さないでください。

▼下水道課

☎23局3525 FAX22局3184

**フェリー鳥羽伊良湖航路利用で
絵はがきプレゼント**

田原市博物館・吉胡貝塚資料館では、フェリーを利用し、両施設のどちらかへ入館された方に、「オリジナル絵はがき」「伊勢街道・伊良湖崎」をプレゼントします。この絵はがきは、景勝地伊良湖岬を浮世絵風にアレンジしたもので、絵はがきとぬり絵用はがきが各1枚セットになっています。フェリーを利用した際には、ぜひ田原市博物館・吉胡貝塚資料館へお越しください。



▼開始日 平成23年1月5日(水) ※乗船券の半券(領収書)を、両施設のどちらかで掲示してください。

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX23局3770

▼吉胡貝塚資料館
☎22局8060 FAX22局8070

**家電4品目は
指定引取場所でもリサイクルを**

「エアコン」「テレビ」「冷凍・冷蔵庫」「洗濯機・衣類乾燥機」の家

電4品目は、家電リサイクル法により、メーカーがリサイクルを行っています。各資源化・環境センターへ持ち込むことはできませんので、指定引取場所へ自己搬入するか、新たに購入する先、またはその製品を購入した家電販売店へ引き取りを依頼してください。

販売店が分からない場合、市内家電販売店では、その販売店で購入していない場合でも引き取りを行っています。引き取りには、リサイクル料と運搬費がかかります。また、ご自宅まで取りに伺う場合には、料金が加算されますので、各販売店へご相談ください。



※指定引取場所は「ごみの分け方・出し方」パンフレットの11頁をご覧ください。パンフレットは、市ホームページでもご覧になれます。

▼清掃管理課
☎23局3538 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

**夕陽が浜・シーサイド田原光崎
宅地分譲**

◆夕陽が浜

所在地 田原市夕陽が浜地内

■宅地面積

267・40㎡(80・88坪) 510・18㎡(154・32坪)

■譲渡価格

936・5万円〜1734・7万円

※上下水道、ガスの宅地内引き込み工事完了

▼田原市土地開発公社(田原市役所建築課内)

☎23局3527 FAX22局3811

✉ kentiku@city.tahara.aichi.jp

HP <http://tahara-takuhidictory.org/>

■夕陽が浜宅地分譲地の所在地



◆シーサイド田原光崎

所在地 田原市光崎地内

■宅地面積

205・35㎡(62・11坪)

314・56㎡(95・15坪)

■譲渡価格

806万円〜1227万円

※上下水道、ガスの宅地内引き込み工事完了

み工事完了

▼愛知県住宅供給公社 事業課

(名古屋市中区丸の内3-19-30)

【平日】

☎(052)954局1331

【土・日・祝日】現地案内所

☎(0531)23局4319

■シーサイド田原光崎宅地分譲地の所在地



**県営赤石住宅
入居申し込み受付**

▼県営赤石住宅住所 田原市赤石三丁目1番地 ▼入居案内配布場所 東三河住宅管理事務所、市役所建築課、渥美支所地域課 ▼申し込み 平成23年1月4日(火)〜11日(火)の期間に郵送にて

※抽選、資格審査を経て平成23年4月1日から入居予定。詳しくはお問い合わせください。

▼東三河住宅管理事務所
☎(0532)53局5616

広がる未来へ

56

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

地球温暖化防止月間と 大気汚染防止推進月間

12月は「地球温暖化防止月間」「大気汚染防止推進月間」です。冬のシェコライフ大作戦を展開して、地球温暖化と大気汚染を防止しましょう。



◆例えばこんなこと

- 保温効果の高い暖かい下着や靴下を身に付けたり、ひざかけを使ったりして、暖房の設定温度を20℃以下にする。
- カーテンは厚めで丈の長いものにする。
- フロアリングに厚めの敷物を敷く。
- お風呂の残り湯を、湯たんぽに使用する。
- 扇風機などで、上にたまった暖かい空気をかくはんして、暖房効果をアップする。
- 大掃除のついでに、白熱電球を電球型蛍光灯やLED電球に交換する。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1,550人 事業所56か所(11月末現在)

毎日難しくても、「毎月1日はエコライフデー」として、何かひとつでも始めてみませんか。身近なことからエコライフに取り組みましょう。



♥ 地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

● 中学校の部

【優秀賞】岡田祐季乃さん(東部中学校)



【入選】河合舞さん(泉中学校)



※平成22年3月現在の学校名です



▼ エコエネ推進室

☎ 23局7401 FAX 23局0180



省資源とリサイクル

皆さんは携帯電話を買い替えるとき、使用済みの本体を、どうしていますか。今回は、使用済みの携帯電話のリサイクルについて紹介します。

資源として回収しているものは？

- 携帯電話やPHSの本体
- 充電器
- 電池

携帯電話には、貴重な資源である希少金属(レアメタル)が含まれており、リサイクルが進められています。本体や電池に含まれる金や銀などの貴金属や、パラジウムやコバルトなどの希少金属などが資源として再利用されています。

スマホ回収センター

メーカーや通信サービス提供事業者を問わず、左上のマークのある携帯電話販売店などの店舗で、無償で回収しています。



個人情報の保護は大丈夫？

回収の際には、携帯電話やPHSに保存蓄積された個人情報などを消去し、本体、電池、充電器に分別するなど、再資源化事業者が適正な処理を行います。

携帯電話・PHSのリサイクルに関するお問い合わせ

▼ 社団法人電気通信事業者協会
モバイルリサイクル担当
☎ (03) 5502 0001
http://www.mobile-recycle.net/index.html

家に眠っている使用済みの携帯電話はありませんか。この機会にリサイクルしてみたいいかがでしょうか。

清掃管理課
☎ 23局 05500
FAX 23局 0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

32

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

友好都市 長野県宮田村からお得なお知らせ

宮田村から田原市民の皆さんに、お得な情報が届きましたのでご紹介します。

●宮田観光ホテルで田原市民限定割引！

友好都市・田原市の皆さんこんにちは。もっと多くの田原市の方に遊びにきていただくため、宮田村の第3セクターで運営している『宮田観光ホテル』では、利用料金の**田原市民(在住・在勤・在学の方)限定割引**を ▲効能豊かな早太郎温泉 行います。詳しくはお問い合わせください。



▲効能豊かな早太郎温泉

●宮田村のいいところ



◀冬の中央アルプス

宮田村は中央アルプスのふもとに位置します。高山植物など山の自然を楽しむアルプス宝剣岳直下の千畳敷までは、ロープウェイを使って気軽に訪れることができます。

宮田村のリンゴ畑▶

自然豊かな宮田村はオーナー制度でおなじみのリンゴの産地です。11月下旬に行われるリンゴの木オーナー制度の収穫祭には、田原市民をはじめ県外から多くの人を訪れます。



●割引内容

通常料金から大人1,000円・子ども500円割引
(通常料金=大人8,550円~/特定日を除く)

●実施期間

平成23年1月1日～平成25年3月31日

●問い合わせ先

宮田観光ホテル松雲閣 ☎(0265)83局2134

HP <http://www.miyadakankou.co.jp/>

宮田村役場産業建設課 ☎(0265)85局5864

今回は地震の規模を知るための基本ともいえる、この2つの言葉をご紹介します。

◆**マグニチュードと震度の違い**

●**マグニチュード**

地震そのものの規模を表します。マグニチュードが1大きくなると地震のエネルギーは約32倍になります。例えば、マグニチュード7の地震は、マグニチュード6の地震の約32倍のエネルギーを

こ
んには、かんちゃんです。テレビや新聞などでは、「**マグニチュード**」と「**震度**」という言葉を使って地震の発生を報道します。どちらも地震の大きさを表すものですが、意味は異なります。皆さんはこの違いをご存じですか。

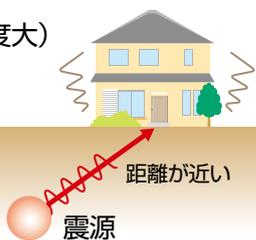


◆**震度は震源からの距離も関係**

マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと大きく揺れ「震度」が大きくなる場合があります。

逆に震源からの距離が遠ければ、マグニチュードが大きい地震でも「震度」が小さくなる場合があります。

●大きな揺れ(震度大)



※マグニチュードの大きにかかわらず、震源からの距離が近いと震度が大きくなる場合があります。

▼防災対策課 ☎23局3548

かんちゃん

マグニチュードと震度

防災まめ知識

67

持っていることになります。

●震度

地震が発生した時、私たちが生活している場所での揺れの大きさを表します。日本では、気象庁が10階級に分けたものが使われています。(震度0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7)



忍びよる巨大地震

歴史探訪

クラブ! 其の117

History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

まほろしの白谷トンネル

ある日、田原市消防本部から白谷町方面に車を走らせ、田原鉾山を通り過ぎようとしたところ、北方向に石碑があることに気づきました。石碑は、いぶん立派なものですが、見つけにくい場所なので人目に触れることがなかったのです。

碑を観察すると、表面にはかつての愛知県知事桑原幹根による題字が彫られ、裏面にはこの碑が建てられた経緯が記されていました。それによると、昭和27年、姫島港を開発す



●開通時の白谷トンネル 写真提供:田原鉾産(株)

るため道路を計画し、国や県に働きかけて昭和35年5月28日、白谷トンネルが完成したというものです。

今では、滑らかな坂道で、気軽に通行ができる道路となっていますが、もともとは車では通行できない厳しい峠道でした。車両が通行するためには、いぶん曲がりくねった道を造らなければならず、距離も長くカーブも多く危険です。ましてや、これから自動車による輸送などを活発にしようということになれば、解決するためにはトンネルを造らざるを得ませんでした。山間部でもない渥美半島にトンネルができたのは、このような事情によるものでした。

このトンネルの完成は、産業振興という期待と、戦後の土木技術の発達を示す、当時の住民にとって大きな出来事であったに違いありません。

ここに、開通当時の写真があります。舗装もない道路、そして参列者の服装や車の形が時代を感じさせます。完成したトンネルは、全長229m、幅員5.5m、大型トラックも通行可能なものでした。完成前は、田原中学校に通う白谷町の生徒たちや、白谷にあった西部小学校(現在は童浦小学校に統合)に勤務する先生方は、100m級の山を越え毎日学校に通っていたのですが、トンネルによって便利になりました。しかし、石灰岩の性質上、漏水や、落石などの危険もあつたようです。トンネルは、時折通行禁止になって、生徒たちは以前の暗い峠道を泣く泣く帰ったこともあるそうです。

このように、住民の産業、暮らしに関わりを持った白谷トンネルも、昭和46年、石灰岩の採掘範囲の拡大や、危険との判断で、11年半にわたる役割を終えました。トンネルの代わりには、開削工法によりさらに安全で快適な新しい道路(現道路より

西側)ができました。現在、この地にトンネルがあつたということなど思ってもありませんが、田原市の産業発展のひとつの事業として、私たちは記憶にとどめておく必要があるでしょう。その生き証人がこの石碑なのです。

(増山)

※前号の豊川用水の通水について、昭和43年5月に全面通水しました。ここに補足させていただきます。



●ひっそりとたたずむ、白谷トンネルの完成記念の石碑

今月の「表紙」
▼ガラス温室に入ると、そこはまるでお花畑。辺り一面に、甘いシクラメンの香りがただよっていました。出荷する花をトレイに手際よく載せていく様子は、昭和初期の花摘みを思わせます。その昔、露地の花卉栽培で名を馳せた渥美半島。形は変われど、渥美半島のお花畑は受け継がれているんですね。(O)

【表紙の写真】シクラメンの出荷風景(堀切町)